

035 鎌倉時代 政治史⑦ 鎌倉幕府の滅亡

<天皇家が分裂>

後嵯峨— 後深草 上皇〔持明院統〕八条院領
亀山 天皇〔大覚寺統〕長講堂領
→後嵯峨の遺言で幕府が調停
両統迭立に(文保の和談)

<後醍醐天皇>

皇位を 持明院統 に渡したくない
理想 中国風の皇帝専制政治。
(背景) 宋学 (朱子学)の影響
道場…観心寺(河内国)

◎ 正中の変 (計画倒れ)

- 御家人を味方につけようとしたが失敗
(倒幕の勝算なく、御家人ら尻込み)
- ・ 日野資朝、日野俊基のみ流罪。

◎ 元弘の変

- 御家人だけでなく、新興武士勢力
である 悪党 に注目した！
河内の鉾山経営 楠木正成
山陰の問丸経営 名和長年
播磨の没落御家人 赤松円心
後醍醐が全国に倒幕の 綸旨 を送る

③ 京都の 六波羅探題 軍が出動

→楠木正成、赤坂の戦い で“焼死”
→後醍醐退位、隠岐島 に流罪
→持明院統の 光厳天皇 即位

④ 後醍醐の皇子 護良親王 戦う

- 全国に倒幕の 令旨 を送る！
→楠木正成、千早城でゲリラ戦！
- 九州から鎮西探題軍が進撃
→播磨の悪党 赤松円心 が妨害！
- 隠岐島から後醍醐天皇が脱出
→山陰の悪党 名和長年 が出迎え

⑤ 六波羅探題滅亡

- 守邦親王将軍、京への援軍派遣を決める
その総大将… 足利高氏。
得宗北条高時、高氏の子を人質。
- 弟の 足利直義：今こそ得宗家を
倒し、理想の政治を作りましょう！
→高氏の子 千寿王丸 を鎌倉脱出
- 北条氏相手に若き日の高氏を弁護した
親友 京極高氏 は、「北条の方
が強い。だから俺はお前に味方するぜ」
- 1333 六波羅探題滅亡
↑足利尊氏と 赤松円心 が総攻撃。
- 六波羅探題北条仲時、光厳天皇を連れて
逃亡→ 京極高氏 が討ち取る。光厳保護。

◎ 鎌倉幕府滅亡

御家人 新田義貞 挙兵。500 人集まる。
千寿王丸(5歳)挙兵。『全国の源氏、我が下に集まれ〜』
→2 万騎集まる。小手指原の戦いで幕府軍破る。
1333 年北条 高時 ら得宗家 500 人自害。
守邦親王将軍…鎌倉混乱の中、生死不明に。

◎ 高時の遺児 北条時行 (8歳)
は 御内人 の一人の諫諍氏に
抱かれて信濃国へ逃げ切った。